

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称： 10・都市イノベーション学府

申立ての内容	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b> I 教育の水準 分析項目 I 教育活動の状況 観点1-2「教育内容・方法」 [判断理由]</p> <p><b>【原文】</b> 「すべての講義とスタジオ教育、修士論文指導を英語で行う国際基盤学コースの設置に伴い、英語により開講する授業科目数は平成23年度の35科目から平成27年度の59科目へ増加している。そのほかの専攻・コースでも英語による科目のみの履修を可能としている。」</p> <p><b>【申立内容】</b> 原案に誤記がみられる。</p> <p><b>【修正文案】</b> 「<u>「国際基盤学コース」では、すべての講義とスタジオ教育、修士論文指導を英語で行っている。ほかの専攻・コースにおいても多くの科目で英語による講義が行われるようになり、英語による授業の科目数は、平成23年度の35科目から平成27年度の59科目へ増加し、そのほかの専攻・コースにおいても英語による科目のみの履修によって課程修了が可能になっている。</u>」</p> <p><b>【理由】</b> 平成27年度に59科目へ増加した要因は、国際基盤学コースの設置に伴うものではないため。 また、そのほかの専攻・コースにおいても英語による科目のみの履修による課程修了が可能となっているため。</p>	<p><b>【対応】</b> 意見を踏まえ、判断理由の一部を以下のとおり修正する。</p> <p><b>【修正文】</b> ○ すべての講義とスタジオ教育、修士論文指導を英語で行う国際基盤学コースを設置している。また、そのほかの専攻・コースにおいても英語による科目の開講を奨励したことに伴い、英語により開講する授業科目数は平成23年度の35科目から平成27年度の59科目へ増加し、英語による科目のみの履修による課程修了を可能としている。</p>